

## 【目次】

1. 一般財団法人日本労働会館 2022 年度第 3 回理事会が開催。
2. 年末年始休館のお知らせ(2022.12.28～2023.01.04)

### 1. 2022 年度 一般財団法人日本労働会館 第 3 回理事会を開催

2022 年度 第 3 回理事会が 11 月 15 日(火)東京港区芝・仏教伝道協会にて開催されました。冒頭、宮本礼一代表理事の挨拶は下記の通り。

#### 記

本日はご多忙な中、理事・監事全員、そして関西支局の吉永支局長にも出席をいただいた。のちほど、関西支局に関する報告を皆さんに申しあげたい。冒頭、皆さんに喜ばしいお知らせがある。当財団の津田理事が、参議院議員当時の功績が認められ、11 月 9 日に皇居で旭日重光章が親授された。改めて経歴をご案内するまでもないが、簡単にご紹介すると、厚生労働大臣政務官を 6 年間務められ、厚生労働政策関係での活躍は皆さんも記憶に新しいと思う。特に事業不振で休業を余儀なくされた中小企業で働く人たちの雇用を確保する上で欠かすことのできない雇用調整助成金制度では、申請や受給の手続きの簡素化等に尽力され、東日本大震災や新型コロナの中での大量失業に歯止めをかけることに繋がった。津田元議員が取り組んできた雇用・労働政策がわが国経済を下支えしていることは、当財団としても誇りとするところだ。津田理事におかれては、今後とも健康に十分に留意され、益々のご活躍を祈念申し上げたい。皆さんのお許しをいただければ、この挨拶の後に津田理事から今回の受章についての言葉をいただければと思う。

ローズステイ東京芝公園がリ・ブランドオープンして半年が経過。簡単に総括すると、総支配人をはじめスタッフの皆さんの努力もあり、順調に客室稼働率が上がってきている。今後の新型コロナの感染状況にもよるが、今年度下期の客室稼働率、客室単価は改善されていくと期待している。ただし、現状は新型コロナ感染拡大前の 2018 年頃の稼働率・客室単価までには戻っていない。一方で、業務委託等の新たな費用が発生しており、スタッフの増員等により人件費も上昇している。加えて、今後は給湯機の設備更新、空調設備の更新時期も迎えており、さらに予約管理、販売管理等の新たなシステムの導入も計画しているので、生産性の高い経営体制構築をめざしていくつもりでいる。8 階フロアの売却でなんとか確保した資金を充当しているが、財団として運転資金の環境はまだまだ厳しさが続くことが想定される。

財団のあり方検討委員会についても少し触れたい。2025 年 3 月末で現在の公益目的支出計画が終了することを前提として、その後の当財団の存続と、公益事業のあり方について検討する「あり方検討委員会」は 9 月以降、これまでに 2 回の会合を重ねてきた。検討委員会では、当財団の財政基盤を支える宿泊事業の今後の見通し、公益事業の現状と公益目的支出計画の推移、一般財団法人の運営に関する法的根拠や、監督主務官庁である内閣府への公益目的支出計画の提出と年度ごとの事業報告の仕組み等について、理解を深

めていただいた。また、当財団の今後あるべき法人運営や事業展開を考える上で、税制上の課題等については当財団の関口顧問税理士から説明いただくとともに、意見交換にも参加をいただいた。あり方検討委員会は年内にあと2回程度開催を予定しているの、委員の皆さんにはご多忙とは思いますが、最後までのご協力をお願いしたい。

労使研の関西支局が活動を開始してから今年で30年になる。この間、関西支局では大阪を拠点に置いて、これまで数々のイベントを企画・実施してきた。2020年以降は新型コロナウイルス感染拡大もあり、先日開催した友愛労働歴史館による特別企画「西尾末廣展」が最近の唯一のイベントとなっている。財団の財政危機が現実のものとなり、JAMや株式会社友愛会館に対して財政基盤の立直しのための協力を要請するにあたり、当財団自らが支出抑制対策を講ずる必要があり、関西支局の活動休止等、今後想定される「内容について皆さんにもお話ししてきた。関西支局の活動を人材面で支えていただいた吉永さんは今年で77歳になられ、もう一人の叶迫さんも先日75歳の誕生日を迎えられた。先日お二人と大阪で意見交換をしたが、ご自身の体調もあり、仮に関西支局の活動を休止した場合の労使研の関西の会員団体からの反応等も併せて、意見交換をした。その結果、吉永さん、叶迫さんは自分たちが高齢の域に達して引退の時期にもきており、活動を担ってくれる後継者探しも中々うまくいかない等のご意見をいただいた。関西支局の活動については本理事会で対応を確認したい。

8階売却にあたって奥川弁護士事務所に昨年ずいぶんお世話になった。8階を株式会社友愛会館に売却するにあたって、いろいろとご相談した。奥川弁護士は過日、逝去された。奥川弁護士は同盟時代から同盟系の多くの産別・単組の労使紛争解決に汗を流された。つい最近まで、奥川弁護士事務所で活動する弁護士のリーダーとして第一線で活躍されてきた。奥川弁護士にたいへんお世話になった団体・組織のひとつとして、改めて故・奥川弁護士のご冥福をお祈りし、追悼の意を表したい。

新型コロナウイルス感染症はいずれ収束するにしても専門家の間では年末年始に向けて第8波のピークが予想されている。ローズステイ東京芝公園では引き続き感染防止対策を講じていくが、理事・監事の皆さんも十分感染防止に留意されるようお願いしたい。また、ロシアのウクライナ侵略に対しては、当財団の理事会でもロシアのウクライナからの即時撤退を求める決議を採択したが、侵攻から8か月を経過した現在、寒い冬を控えて停電やガス供給が止まって市民生活が危機的状況になっていると伝えられている。当財団としても戦争状態の一刻も早い終結を望むことを改めて表明して、第3回理事会を開催したい。

#### <報告事項と議案>

代表理事の挨拶を受けて津田理事叙勲の言葉(略)、その後、滑川常務理事から、公益事業あり方検討委員会の検討状況について報告があった。そして、各担当から①友愛労働歴史館事業(藤吉友愛労働歴史館館長)、②労使関係研究協会事業(滑川労使研事務局長)、③宿泊事業(菊池総務部長)の報告がされた。

なお、次の議案はすべて採択されました。

第1号議案 2022年度 中間決算について

第2号議案 関西支局の事務所閉鎖について

## 2. お知らせ

### ①友愛労働歴史館の年末年始の臨時休館日

年末年始の12/28(水)と1/4(水)、臨時休館とします。

2022年12月28日(水)～2023年1月4日(水)の期間、友愛労働歴史館は休館とします。

-----*「人間の尊厳、進歩と発達のために」*-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org)

HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----*惟一館から128年、友愛会から110年*-----